

指導者資格保有義務化の追加移行措置に関して
—2025年度実施事項—

指導普及本部
指導委員会

これまでの経緯

JHA指導者資格保有義務化

目的

ハンドボール指導者の資質向上

ねらい

- ・ 学び続ける姿勢「学ぶことを止めたら、教えることを辞めなければならない」
- ・ インテグリティ教育の徹底
- ・ 指導者を守り、ハンドボール競技を守る

これまでの経緯

JHA指導者資格保有義務化10年計画（2018年2月理事会承認）

2021年4月スタート〈移行期間3年、2024年4月から完全実施〉

- ・ 日本スポーツ協会（以下JSPO）公認指導者資格のうち〈コーチ1～4〉〈スタートコーチ〉〈コーチングアシスタント〉を取得している人が、年間登録時の役員の中に1人以上登録していることが必要である。（ハンドボールに限らず、他種目の資格でも承認する。）
- ・ 2024年からは、公認指導者資格保有者が1人もいない場合には、年間チーム登録が出来ない。（各種大会におけるベンチ入り役員規定とは連動しない。
→現在のところ、各種大会でベンチ入り役員に指導者資格は義務付けない。ただし、国民体育大会および全国小学生大会では既に義務付けられている。）
- ・ 2025年からは、国民体育大会およびU-15ジュニアセレクトカップに限り、ベンチ入り役員にコーチ3以上の資格保有者1人が求められる。
- ・ 移行期間が終了する2023年に、時代変化を勘案し、追加移行措置の要否を検討する。

これまでの経緯

今回の追加移行措置の焦点は中学校・高校部活動における「専門外顧問教員への対応」である。
2024年4月から2027年3月までの3年間を追加移行措置期間とし、以下を実施する。

【ビギナーコーチ(暫定的資格)を設け、
中学校・高校における部活動の顧問教員を確保】

また、中学校の休日の部活動が段階的に地域へ移行される期間(2023年度から2025年度まで)における、部活動地域移行の進み具合を注意深く観察しながら、指導者資格保有義務化の意義を全国へ伝える活動および公認コーチ養成講習会を継続的に実施し、以下を目指す。

【2027年度より指導者資格保有義務化完全実施】

これまでの経緯

ビギナーコーチに関する概要

- (1)2024年4月より、日本ハンドボール協会独自かつ暫定的な資格（仮称：ビギナーコーチ）を設け、その講習を受講し、資格認定を受けた役員のいるチームについては、追加移行措置期間内における年間チーム登録を認める
- (2)ビギナーコーチを受講できる期間は、原則、4月から7月までとする
※ 年度はじめには資格保有者がいないチームでも、7月末までに行われる各種大会に参加できるが、8月に入っても資格認定を受けた役員がいないチームには**理由書の提出を求める**
- (3)ビギナーコーチの講習内容はプレーヤーズセンタードとスポーツインテグリティに関するものとし、受講者は90分程度のオンデマンド教材を視聴し、その後、課題を提出する
指導委員会は課題をチェックし、内容が十分であれば資格認定を行う（受講証明書発行）
- (4)追加移行措置はすべての区分のチームを対象とするが、ハンドボール愛好家が指導者を務めていることの多い以下の区分のチーム役員には、スタートコーチ以上の資格取得を促す
※ 一般A、リージョナル、大学、中学生クラブ、小学生、ビーチ、マスターズ

これまでの経緯

ビギナーコーチを実施するための費用確保など

以前実施したアンケートにおいて、専門外顧問教員にとって資格取得のための費用は負担である旨の回答があった。

これを受け、ビギナーコーチ実施のための費用を以下のように確保し、使うこととする。

(1)ビギナーコーチは無料で取得できる資格とする

(2)チーム役員にJSPO公認指導者資格を保有している者がおらず、ビギナーコーチを取得する、または取得したチーム役員が所属するチームは「チーム登録金」を2,000円追加して支払う
※ 役員登録金ではなくチーム登録金とすることで、専門外顧問教員の個人負担を避ける

(3)確保したお金は主に以下のために使う

- ・ オンデマンド教材の作成にかかる人件費
- ・ 受講者とのやりとりを担当する者の人件費
- ・ MY HANDBALLの仕様変更のための費用

2024年度 ビギナーコーチに関する報告事項

(1)MY HANDBALLを利用し、

JSPO公認指導者資格保有者が所属していないチームの代表者全員へのお知らせ・メール連絡

- 👉 2024年度現在、JHAに登録しているチーム数は4590
そのうち、1597チームの指導者が本件の対象

(2)上記(1)に反応のあったチーム代表者とやり取りをし、以下を実施

- ①ビギナーコーチを受講する指導者に対してオンデマンド講義配信、レポート課題提示
- ②提出されたレポート課題の内容をチェック
- ③課題をクリアした指導者に受講証明書を発行

(3)ビギナーコーチを取得した指導者の人数 ※2025年1月末現在

- 👉 435人

指導者がビギナーコーチを未取得のまま、1年間活動したチーム数：約1000

※指導委員会から、まず5月に「MY HANDBALL 協会からのお知らせ」を利用して連絡

これに反応しなかったチームの代表者に対し、6月・7月・10月にも同様のメール連絡をしたが、未だに反応のないチームが約1000チームある

2025年度 ビギナーコーチ未取得チームへの対応

(1) ビギナーコーチを受講できる期間は4月から7月までとする

※ 8月に入っても資格認定を受けた役員がいないチーム（ビギナーコーチを取得した指導者がいないチーム）は、原則、**それ以降の大会に参加することはできない**

※ 7月末までに各チームは、MY HANDBALLを使ったチーム登録を行う際、当該役員の取得資格の入力を済ませる

(2) 2024年度にビギナーコーチを取得した者が所属しているチームは「チーム登録金」を2,000円追加して支払う

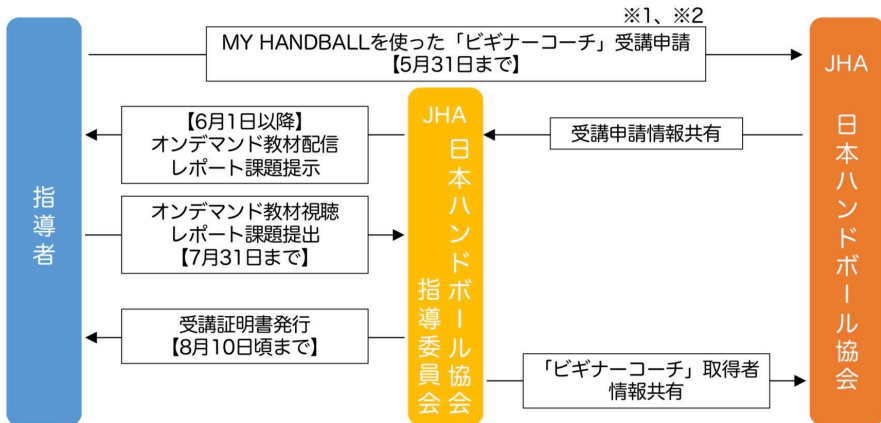
※ 2024年度にビギナーコーチ取得者を置かなければならなかったものの、その対応をしなかったチームは「チーム登録金」を4,000円追加して支払う

※ 2024年度には①JSPO公認資格保有者がいた、②ビギナーコーチ取得者がいたが、そのチーム役員の転勤などにより、新たにビギナーコーチ取得者を置く必要のあるチームは「チーム登録金」を2,000円追加して支払う

(3) 確保したお金は主に以下のために使う

・受講者とのやりとりを担当する者の人件費（2024年度は1名 ➡ 2025年度は2名）

【2025年度版】日本ハンドボール協会認定ビギナーコーチ取得までの流れ



※1 MY HANDBALLにおいて当該指導者の資格情報を登録する際に、「ビギナーコーチ(取得予定)」を選択するとビギナーコーチの受講申請が完了する

※2 2025年度に日本スポーツ協会公認指導者資格保有者を登録できないチーム（ビギナーコーチ取得者またはビギナーコーチ取得予定者しか登録できないチーム）は、チーム登録金を2,000円追加する
また、2024年度に日本スポーツ協会公認指導者資格保有者、ビギナーコーチ取得者のいずれも登録しなかったチームは、さらにチーム登録金を2,000円追加する

JSPO公認指導者資格保有義務化の追加移行措置の流れ

